

みやけの風

第 101 号

平成14年(2002年)11月9日(土)発行
 発行：三宅島災害・東京ボランティア支援センター
 発行責任者：上原 泰男
 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ 10階
 東京ボランティア 市民活動センター気付
 TEL：03-3260-7573 FAX：03-5229-1646
 E-mail：tokyocenter@cmpo.org

「ふれあい集会はいいい天気によかったな」「大勢集まったじよ」「何たって、避難先でみんなして集まって作った折り紙や押し花が飾ってあったのに感動したな」「老人ホームのお年寄りが作ったのもあったっけが」「だから」「島民どうし、行政、支援者、いろいろな人らが集まって交流して何かを作る。そのことが大切だじよ」「『ふれあい集会』はそう何度もできねえけど、小さな集まりもやりながら、これからもお互いに励ましあっていくべな」「だからよ」

みんなの声

100

皆さん、ありがとうございます。

とうとう「みやけの風100号」が届きました。私はこの週をずっと心待ちにしていました。編集される方々に、深く感謝申し上げます。

このみやけの風こそ、私達島民の心をつなぐ手段としてここまで頑張っていたいただきましたこと、すごく嬉しく思います。

私達は、ファクスが届くと手分けをしてコピーをし、アパートの各家庭に配っています。毎週土曜日が定番です。他のチラシ等を配るにも、土曜日に「みやけの風」がくるから、その時いっしょに配ろうか等々、私たちの生活とすごく密着しているこの頃です。届くといつも心が和んできます。そして、連帯感があって何か安心感のようなものがあります。

これまでのご苦勞に感謝しますと同時に、まだまだ帰れる見通しもなく、あちらこちらで離ればなれに暮らす島びとの、堅く手をつなぎ止めるためにも、これからも発行をどうぞよろしくお願い致します。

「おらも、今日はうれしいじよ」「ほんとに、ありがとよ」 (港区 早川 マス子)

2

「『みやけの風』が100号になりますよ。」と三宅島災害・東京ボランティア支援センターのウラベさんに言われて、過ぎし2年の日々を思い起こし、感無量のものがあります。三宅島が2000年6月26日に突然噴火し、三宅地区に降灰がつもり、高齢者の家の灰除去の援助のため、三宅島社協が東社協の東京ボランティア・市民活動センターにお願いしたところ、7月21

日～23日に上原さん率いる東京災害ボランティアネットワークのボランティアの方々が130名も来島され、献身的な活動に目を見張り、頭が下がるばかりでした。そして、9月3日に避難すると、9月8日には直ちに支援センターを立ち上げ、あっという間に多くのボランティア団体や企業の強力な支援を得て、上原さんが支援センターの事務局長として、島民のために、色々なアイデアを出され、その実現のために活動してくれました。

慣れない土地での生活は大変だろうから皆さんが集まって話し合える場を作ろうと、12月3日に『第1回三宅島ふれあい集会』を港区立芝浦小学校で開催し、島民の方々は久々の再会を喜んで1日を楽しんだと思います。

島民同士いつでも連絡が取れ、話ができるように『島民電話帳』を作ろう。ファクス機を、島民の連絡会を、そして、『ふれあいコール』をと、島民のためにを第一に考え、色々と実行されていくのに社協は協力してやってきましたが、振り返って見ると支援センターやボランティアの支援に寄りかかっていたという思いです。

同じ場所で仕事をするようになって、上原さんの人柄を知り、よく話をするようになり、時にはニコニコしながら「早く帰れよ」と冗談をいいながら、色々と考えてのこころ配りには頭が下がりました。

11月4日の『第5回三宅島島民ふれあい集会』は好天に恵まれて、芝浦小学校で盛大に開催され、皆さんは久しぶりの再会を喜んで楽しい一日を過ごしたと思います。

全島避難から2年、やっと明るいニュースも聴けるようになって来ました。最近は上原さんの冗談も聴けなくなって久しいが、

今度は「もう帰るのか、もう少し居ろよ」と言う声を聴くことのできる日の早く来る事を願って、みんなで助け合い励ましあって元気で頑張りましょう。

(港区 三宅島社協会長 寺本 達)

11月3日(日)江東区城東老人福祉センターにて、第4回城東フェスティバルを行いました。

今回、三宅ゆめ農園の皆さまよりお花を提供いただき、まさに“まつりに花を添

える”に相応しく、多くの来場者の方々に配布させていただきました。とても素敵な花に、来場者一人一人が大変喜んでおりました。

ゆめ農園事務長さんをはじめ、スタッフの方々および島民の皆さまへ心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

寒い季節になってまいりましたが、皆さまのご健康と1日でも早い帰島をお祈り申し上げます。

(社会福祉法人 江東区社会福祉協議会 城東老人福祉センター職員一同)



2002

毎年恒例のアイランダー。今年は池袋サンシャインシティ文化会館で開催されます。全国の島からの物産、郷土芸能、島の暮らしなど盛りだくさん。「がんばれ三宅島コーナー」もあります。お誘いあわせの上お出かけになってみてはいかがでしょうか？

日時：2002年11月23日(土)・24日(日)
10:00~18:00(2日目は17:00まで)

会場：池袋サンシャインシティ文化会館2F 展示ホールD
(JR池袋駅徒歩8分・地下鉄有楽町線東池袋徒歩3分)

また、アイランダー2002事務局では、「島の写真とメッセージ」を募集しております。応募された全作品は会期中、会場で展示されます。あわせてご応募くださいませ。

募集内容：「島の写真とメッセージ」

島と都市生活者の交流・ふれあい・出会いをテーマに、1枚の写真(カラーサービス版)とその写真にまつわるエピソードや思い出などをお送りください。

応募締切：2002年11月20日(水)

お問い合わせ：03-3295-5420(担当：松浦)

題名『ひっとべ』には、「人生迷っているより思い切ってやってみよう」というメッセージが込められています。『ひっとべ』とは思いきって飛べという意味。この映画は、楽しい落語を聞きながら誰にでも関係のある老人問題をちょっとだけ考えさせる笑いと涙のヒューマンドラマ。三遊亭歌之介主演。

生きる元気と勇気を与えてくれる映画です。お誘い合わせの上、ご来場下さい。

上映日	会場	開演時刻
11月 25日(月)	横浜市教育文化ホール (JR関内南口駅前徒歩3分)	13:30 ~、18:00 ~
12月 6日(金)	横浜女性フォーラム(JR/地下鉄戸塚駅徒歩7分)	13:00 ~、15:30 ~ 18:00 ~

*会場受付で島民であることを証明するものをお見せください。

問い合わせ：045-531-9543(梅本)『ひっとべ』神奈川県公演実行委員会